



RD6 03.4.1.

「お留守番は襟を正して…」

今回は子安教会の村田佳代子先生にお話を
お伺いしました。先生は広島県の一河教会の
三女としてお生まれになられ、金光学院で
知り合われた現教会長村田喜実雄先生と昭和
三十九年に結婚、四十四年には教会後継の
ため家族とともに、岡山県長浜教会から、現
在御用されている子安教会へ来られました。

☆岡山と神奈川では、風習や言葉など、色々
違う所があったと思いますが、どうでしたか。

「そうですね。最初は、言葉がきつく感
じました。とりつくしまがない、というか。
それと、岡山の田舎の方が、純粹・素
直で、こちらの方はガードが固い感じがし
ていました。」

☆大変でしたね。

「しかし、これも神様の縁だと思うので

すが、その頃の子安教会の総代さんや、岡
山出身の方などが、若い私たちに、地域の
違いから信心面、また教会で育った私たち
には分かり難い一般的な感覚のことなど、
色々教えて下さった
ので助かりました。」

「そのころ私は貧血があったのですが、
(夫である現 教会長はともよく手伝っ
てくれたので、助かりました。」

☆先生が教会を空ける時
来て間もない頃など、留
守番怖くなくつたですか。

☆失礼かもしれませんが、その時代の方とし
ては珍しいですよ。

「また、子供が少し大きくなりましたら、
掃除や洗濯のたたみ方などを教えて、手伝っ
てもらいましたので、それも助かりました。」

☆若先生、お料理とカ上手ですね。

「なるべく子供に分かるように、教えま
した。今大きくなってからは、あまりして
くれませんが(笑)。子供たちは学校の先
生や教内外の友達に恵まれて、ここまで来
られたと思います。」

☆どうもありがとうございました。

川でスバって山でコロんで…とってきました

interview

第4回 村田佳代子 先生 (子安教会)



「怖くはないけど
(笑)、すごく緊張し
ますね。それは今でも
ですが。教会長が留守
の時に限って、普段ナ
カナカ来られない、遠方からなどの参拝者
があつたりするので、留守番の時は、家事
など普段の仕事をしなくて、身なりを整え、
お広前で控えさせて頂きました。(信者さ
んの参拝のない時は、子供が小さい時には

「しかし、これも神様の縁だと思うので

女性のつどい

“韓国料理を作って食べよう2” —こんどはナベ— 2.22.SAT 10:30~15:00

復活を望む多くの声(?)にお応えして、またまたこの“つどい”が開かれました。(この前の週に東京で行われた『首都圏女性の集い』とは別ものです、お間違いなく。)

今回も金光教東京寮にお住いの韓国人留学生、金潤淑(キムユンスク)さんを講師にお迎えして、寒いこの時期にピッタリの鍋料理を教えてくださいました。

今回は2回目ということもあり、調理作業は手際よく進みましたが、その前の食材の調達で“意外”なものが手に入らずに講師にご迷惑をおかけすることになろうとは…考えもしませんでした。



みなさんは“イガイ”を食べたことがあるでしょうか?防波堤によくいる黒い貝なんですけど…(鳥取では食べるそうです)。これがいくら捜してもナイ。韓国食材を扱っている店にもない。他にも、生がなくて茹でた蛸しかなかったり…、講師曰くどちらも鍋のダシに欠かせない素材だそうで、キムさん自身が馴染んだ味を出すのに苦労されていたのが印象的でした。(この場を借りて、留学や転勤などで、思うように馴染み親しんだ味に出会えない方々にエールを送りたいと思います。フレイフレイ!!)

そんな苦労もあって、海鮮鍋、味噌チゲ、キムチチゲの鍋3品と、チヂミ、ナムルを併せた自分達の“作品”に、参加されたみなさんは、頭からの汗を拭き拭き満足そうでした。—光—

PLACE: 神奈川教会

チヨツとお邪魔します、だいぶ先ではありませんが:
7月5日(土)は、神奈川山梨教会連合会の
教祖百二十年奉祝
記念講演集会です。

内容は:

☆映画『おかげは和賀心にあり』上映

☆講演『金光大神』出現のロマン

久保田純二先生(総務部長・鯉城教会長)

横浜西公会堂で十二時に開場です。

この機会に是非、みんなで一緒に教祖様のことを
事績に触れましょう! (詳しくは、教会宛て
の御案内をご覧ください。五月頃発送予定です。)

しゅーかい あ・ら・かると

調理風景です。皆さん“ムダロ” →
もきかず、頑張ってます。
食事の時まで、体力温存でしょうか?

やっと食事です。
この時間になったら、何故か人数が増
えました…な な な なんてだろうトト
↓



料理のレシピをご希望の方は、子安教会
村田光治(045-421-1927)まで

ハワイの暮らし & 日本の暮らし

横浜西教会 山田 浩子



春が来ました。美しい花が一年中街を彩るハワイにいても、この時期が近づくと、美しい日本の桜（花はもちろん、餅のほうも）が恋しくなり、四季を懐かしむ心が湧いたものです。

さて、日本では春は入園・入学の季節。わが家も二年前、帰国後わずか二十日足らずで、長女の小学校の入学式に臨みました。ハワイの場合、卒業式はセレモニーがありますが、入学式はただのオリエンテーション。娘の幼稚園（ハワイは幼稚園から義務教育で、小学校に併設されている）の入園式も、普段着で説明を聞くという保護者説明会に過ぎませんでした。ですから、娘の入学式には、かなり強烈に“日本”を感じました。

とりわけ「おおー!!!」と思ったのが服装でした。入学式と言えば先生はもちろん、親も子どももキチツとしたスーツ系。ハワイでは、みんながスーツを着ている場面に出くわすことは一度もありませんでした。男性の正装はアロハシャツですから、夫は、何種類かのアロハシャツで普段着から冠婚葬祭など、すべてのシーンに対応できました。（アロハシャツには、襟の形や色柄の違いで、ビジネス、パーティ、カジュアル等の違いがあります）。女性の正装はムームーです。私はムームーは気恥ずかしくて着ませんでした。それでも、ほどほどの格好をしていれば済んでいました。ですから、入学式で久々にタンスから引っ張り出して着たスーツは、窮屈な感じ（太ったわけではありません！）がしました。

当の娘は…と言いますと、これが大変でした。フォーマルな服など持っていませんから、帰国前にハワイのショッピングセンターを探し回りました。しかし、女の子のフォーマルというとパーティに着るようなゴージャスなドレスしかありません。思いきって、日本人観光客が行くブランドのお店のドアをくぐりましたが、ありませんでした。



またまたお邪魔します。
連合会では、

6月28日(土)に
“信者の集い”として
をこどもの国において

**オリエンテーション
とバーベキュー**

予定しています。みなさま
富ってご参加下さい。

結局、ハワイでは用意できず、日本でもすっかり購入の時期をはずし、彼女は手持ちの夏物の紺のワンピースに上着を着て出席したのでした。

そして式の当日、話題の「日の丸・君が代」問題も学校側が上手くかわし、整然とした中で淡々と次第が進められていく様子にも“日本”を感じました。自分の名前しかひらがなの読み書きができない娘が、これからどう順応していくか、不安と興味を覚えたことを思い出します。今ではすっかり、日本の小学生している娘の成長に感謝しつつ、そんな二年前の春の日をなつかしく思う今日この頃です。

天地金乃神大祭

教会名	日 程	時 間
津久井	4月19日(土)	午後1時30分
横浜西	4月20日(日)	午後1時30分
甲府	4月20日(日)	午後1時30分
藤沢	4月24日(木)	午後1時30分
鎌倉	4月27日(日)	午後1時30分
登戸	4月27日(日)	午後1時
南甲府	4月27日(日)	午前11時
大明	4月28日(月)	午後1時30分
川崎	4月29日(祝)	午後1時
横須賀	5月3日(祝)	午後1時30分
子安	5月3日(祝)	午後1時30分
丸子	5月3日(祝)	午後1時
相模原	5月3日(祝)	午後2時
生 麦	5月5日(祝)	午後1時
併 布教 65年記念祭		
平塚	5月7日(水)	午後1時
鶴見	5月11日(日)	午後1時
大磯	5月14日(水)	午後1時
野毛	5月17日(土)	午後1時30分
神奈川	5月24日(土)	午後1時30分
小田原	5月25日(日)	午後2時
武蔵小杉	5月25日(日)	午前11時

やまがみ通信

—連合会よりお知らせ—

☆第4回 講話と夕食の会

講話『住み慣れた町に

いつまでも暮らすために』

(介護保険のしくみ・痴呆について

教会での実践活動)

櫻井 正子氏

(横浜市介護保険認定審査会委員・

ケアマネージャー・看護師)

*日 時 4月19日(土)

15時~18時30分

*会 場 金光教 鶴見 教会

*夕食会費 1500円

お申込は教会送付済みのハガキで

4月13日までにお願ひします。

☆「信奉者のつどい」

スタッフ募集!!

連合会では6月28日(土)に、こ

どもの国(横浜市)におきまして、

オリエンテーリングとバーベキュー

を予定しております。その当日、オリ

エンテーリングなどのお手伝いをして

下さる方を募集しております。

教会または子安教会村田までお知らせ

ください (045-421-1927)

〈な・が・ね〉

せめて出来ること

藤沢教会 高橋紀代士

ある年の十月中旬、「お参りしたいんで

すけど」とAさんから電話があった。

聞いてみると、十月十日、丁度金光教に

いたAさんは、ご本部ご大祭の参拝帰りの

人達に会ったそうで、彼等の素晴らしい笑

顔に触れて、ある宗教の信者であるAさん

はうらやましくなり、こんな笑顔の人達が

信ずる神様なら間違いないだろう。私もお

参りしたくなつたというのである。その日

の午後、早速お参りに来られた。

Aさんの心を魅了した人達に感謝してい

る。まさに、和賀心の輝きに満ちた笑顔だっ

たのだろう。私達は常にそうありたいが、

知らない間に他に迷惑をかけたなり、傷つけ

ていることも多い。

そこで、せめて私に出来ることは次の祈

りである。

「私がいなければならぬこと、私がい

たほうがよいと神様がおぼしめすことを、

今日一日どうぞさせてください。」

金光教 神奈川 山梨教会連合会

発行者 南 清 孝

編集責任者 横 山 光 雄

川崎市多摩区生田五―二四―九

金光教登戸教会内